



# 3月 幼稚園だより

令和5年3月1日  
千代田区立番町幼稚園  
園長 中村 千絵

## 一人一人が違う だから輝く

園長 中村 千絵



(番町幼稚園HP)

### <わくわくうめランドの中で>

2月の終わりに5歳児うめ組が「わくわくうめランド」を企画し、他の学年や教職員、そして保護者の方を招待してくれました。「影絵」や「ジェットコースター」など6つの遊びの場全てが、子どもたちが考え、創り出したものでした。

どの遊びも「みんな」で考えたのですが、この「みんな」という言葉には、「仲間の全員が自分の考えを出し、その考えが何らかの形で、遊びに反映され、その遊びの中に自分の役割がある」という意味が入っています。互いの違いを知り、その違いをよさと感じて、考えを合わせていく、このことが真の協同であることを「わくわくうめランド」の子どもたちの姿が語ってくれました。



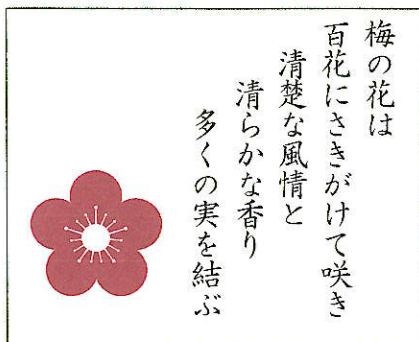
満開の梅の木の前で、5歳児うめ組記念撮影。令和4年度修了生22名です。

### <一人一人が違うことを大切に>

今年度、教育活動を進めていく中で、保護者の皆様に、「一人一人を大切にすること」を繰り返しお伝えしてきました。一人一人の違いを教師が明確に意識し、この違いに合わせた教育がなされていることが番町幼稚園の目指す姿です。一人一人が違っていること、違う考えをもち、違う行動をしていることで、個がしっかり育ち、この育ちにより、学級全体が大きな力を発揮するようになり、このことで、また、個の力もより育っていきます。「違い」があり、多様であることが、より豊かな学びや一人一人の輝きにつながるのです。

3歳児もも組も、4歳児さくら組も、3学期になり、より「好きな遊び」が充実しています。自分の考えたことを遊びとして実現させ、友達と共に楽しむ力がしっかり育まれてきていることを感じます。誰かに与えられるのではなく、遊びを自分で生み出していき、この試行錯誤の中にこそ、たくさんの学びが含まれています。

2月後半には、3学年それぞれ、保育参観がありました。保護者の皆様には、好きな遊びの中で、どの遊びにも、一人一人の「自分の思い」がしっかりあることを見ていただけたと思います。「自分の思い」をもち、その思いが大切なものだと分かることは、これからの人生において、自分の思いをもち、その思いには価値があると信じられる「意欲」と「自己肯定感」につながります。



左の言葉は、番町幼稚園の園章が作られたときに、添えられたものです。生涯で初めて出会う学校である幼稚園で、子どもたちが自分のよさを自覚し、友達と共にたくさんの経験をすることで、自分を広げていけるよう、この1年間、保育を進めてまいりました。子どもたちの今年度の学びが、就学後、また、進級後の学びにつながるよう、3月を大切に過ごしてまいりました。

1年間にわたる保護者の皆様、地域の皆様の温かいご支援とご協力に厚く感謝を申し上げます。本当にありがとうございました。